

GWI Update 2016年2月3日号

GWI 女性性器切除を非難

2016年2月6日の国際女性性器切除（FGM）根絶の日に際し、GWIは各国政府、政策担当者やコミュニティー指導者に、肉体的虐待や人権侵害であり、女兒教育達成への大きな障害ともなっている女性性器切除の危険な慣習をやめるよう求める。

FGMは若い女兒や女性に対する社会的規範の形として行われていて、違法とされているにもかかわらず、この施術を受けない人々はコミュニティーの恥だとされている。

FGMの施術が原因で起こる医学的合併症は、しばしば女兒や若い女性が学校へ行く妨げとなり、その結果、彼らの教育を受ける権利や将来の経済的可能性が制限される。GWIは女兒や女性の教育への安全なアクセスに立ちほだかるあらゆる障害に対して反対を表明する。

GWI Update 2016年2月10日号

2016年2月11日が第1回国際女性と科学の日に

新しい、持続可能な開発のための2030アジェンダは、科学の分野における女性と女兒のエンパワーメントへ投資する重要性を強調している。世界中で、女性は科学研究者の28%を占めるにすぎない。この分野においてより大きな革新と男女平等を達成するため、女性と女兒には、科学、技術、工学、数学（STEM）への男児同様のアクセスが必要である。ユネスコは、人々がこの男女差に目を向けるよう、国際女性・女兒と科学の日の制定を求めてきた。GWIは、中学校でSTEMを教える女性教師を増やすことを2016年3月8日の国際女性デーのテーマとし、2016年4月28日にGirls in ICTデーを祝うなど、様々な活動を通してSTEMの分野で女性と女兒を支援している。Girls in ICTデーは、多様性、革新、雇用の機会のためにこの分野でより多くの女兒と若い女性が必要なことを強調するものだ。

GWI Update 2016年2月17日号

ガーナ大学女性協会（GAUW）「女兒の選択」ワークショップを開催

ガーナにおけるGWIの[Girls' Choices Project](#)の一環として、ガーナ大学女性協会（GAUW）は「女兒のためのジェンダー教育とリーダーシップ」のワークショップを企画した。女性教師2人と校長に引率されて、AkotokyirのSt. Anthony's中学校から25人の女子生徒が熱心に参加した。女子生徒たちが参加したのは、教育や将来の職業選択に前向きになるように、自信をつけさせることを意図したセッションである。そのプロジェクトの主な目的は、女子生徒たちが直面する障害に対処できるだけの知識とスキルを手に入れ力をつけて、中等教育を修了できるようにすることである。

GW Update 2016年2月24日号

シエラレオネ大学女性協会 (SLAUW) 40周年を祝う！

先週、SLAUW 会員が集い、生涯教育を通してシエラレオネの女兒と女性に力をつけてきた40年、その旅路での象徴的な道標と重大な成果を祝賀した。SLAUW は40年の歴史の中で多くの成果を上げており、そのひとつがシエラレオネの女性ネットワークの統括組織である「女性フォーラム」設立への貢献だ。それは今、活発で、全国的に広く知られている。女兒への奨学金も成果を上げてきた。一例をあげると、奨学生のひとりが今ではとても尊敬される国会議員になり少数党院内総務となっている。諸協会の協力で何が達成できるかの好例である。